

## 国内排出量取引制度(キャップ&トレード)とは？

### ■ 排出量にキャップを設定することで総量管理を担保する。

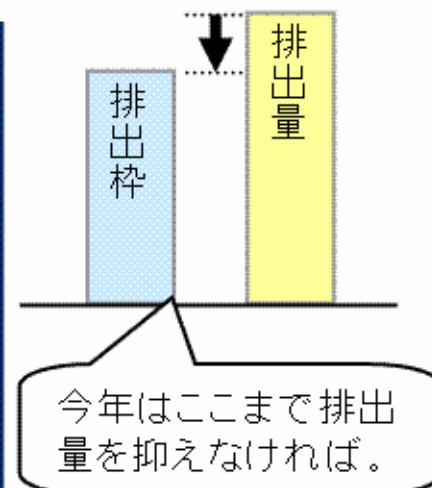
- ・政府が排出枠(温室効果ガス排出の上限量:キャップ)の交付総量を設定し、個々の企業に排出枠を配分する義務的な制度。温室効果ガス削減に関する中長期目標の確実な達成に資する。
- ・排出削減技術への需要が喚起され、技術革新が促される。

### ■ 炭素への価格付けを通じて経済効率的に排出削減を促進する。

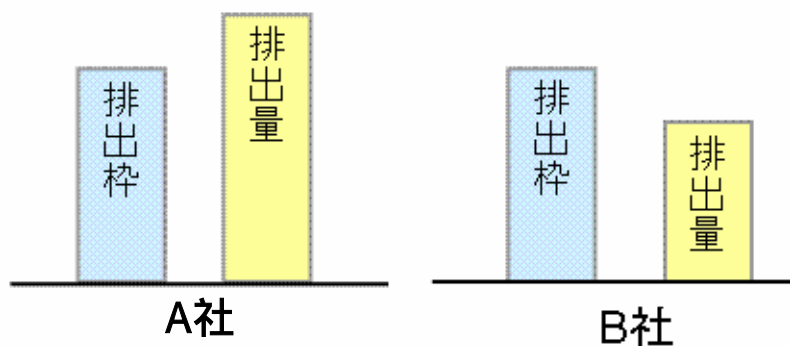
- ・企業の限界削減コストが均等化される。
- ・企業が温室効果ガスの排出をコストとして認識することで、削減対策を経済活動の一部として取り込むことができる。

### ■ 排出枠の取引を認め、柔軟性ある目標達成を可能とする。

- ・目標達成の手段や対策技術の選択について柔軟性が与えられる。
- ・景気動向等に応じた活動量の変化にも対応しやすい。



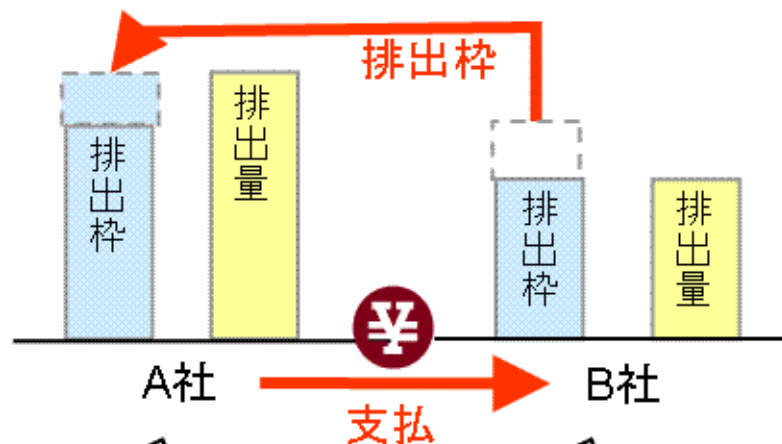
### 排出量取引制度がない場合



もっと削減しなければ。しかし、それには高いコストがかかる...

努力して目標以上に排出削減したのに報われない...

### 排出量取引制度がある場合



高いコストをかけて排出量を減らさずに済んだ！

努力が報われた！更に減らしてまた排出枠を売ろう！